



平成28年7月20日
飯田 恭次
用賀まちづくりセンター

号者局
78 頁務
第 行
第 宛事

生死を分けた

八月十五日

青島 折原恒夫

昭和20年8月15日、その日の朝も私は何時ものように教科書とノートの入った鞆を肩にかけ、港区麻布の学校に向う電車で揺られていた。当時私は中学3年生、戦況が激しさを増す中で学徒動員に駆り出され、学業と勤労奉仕半々の日々であった。この日は登校の後、国鉄飯田町貨物場からトラツクに乗り、麻布狸穴に作る陣の防空壕へのパラス運びであった。

昼、新橋近くの焼け残った小学校に集められ、我々が聞いたのは、敗戦を告げる玉音放送であった。口惜しき、羞しき、悲しき、そして、もう死ぬことはないという安堵感がこちらと混ざり、心もろくなった。私の家も空襲で焼かれ焼夷弾と incendiary 火の洗礼の中で多くの仲間が死んだ。

耐え難きを耐え忍び難きを忍びの詔勅が、今でも私のあの日の記憶から消えろことはない。



無条件降伏

青島 中島健治

私は昭和4年7月生まれの後期高齢者です。小学生、中学生時、軍事教育を受けて育ちました。日中戦争、大東亜戦争時代の体験者です。昭和20年7月26日、米、英、中三国連名でボツダム宣言無条件降伏の申し出を日本軍部は黙殺した。

米國は8月6日広島、9日長崎へB29による原子爆弾投下。ソ連は8日、対日宣戦布告。それが米國の原爆投下を早めたと言われている。

日本政府は御前会議を開き、天皇の御聖断により、ボツダム宣言の無条件降伏を受諾。8月15日、ラジオによる玉音放送で戦争は終った。

平和が続きますように

用賀 滝沢文代

71年前の8月15日は、大変暑い日でした。

正午の放送で、忍び難きを忍び、玉音を聞き、日本の負けた事を知りました。大勢の戦死者、犠牲者の尊い命の犠牲を払った後、今の平和があるのです。

数年前に日赤の講演会で講師の滝田栄さんが、戦争犠牲者の背後には大勢の家族が居ります。其の方々の悲しみ苦しみを考えた時に幾ら英辞麗句を並べても戦争は絶対にしてはいけませんと言われた熱い言葉が脳裏から離れません。

此の平和な日本がずっとずっと続きます事を祈ってやみません。

民主主義の重要性

青島 瀬内 一

私は終戦を父親の赴任地山梨県甲府市で迎えました。玉音放送は記憶にありません。ただB29による焼夷弾爆撃の中を母親と姉と一緒に逃げ廻ったこと、『新製爆弾が落とされた』と父が嘆いていたことが深層記憶に刻まれています。

10歳で東京に移り、結婚してから50年、玉川台に住んでいます。

大戦の知識は、書物などによる後付けのものですが、毎年8月15日に想うことは、『何故、開戦したのか？』である。

そして、改めて、民主主義の重要性と有り難みを噛みしめる時となります。

(元東京原大教授)

私 八月十五日

疎開先から両親のもとへ

瀬内 井上佐喜子

昭和20年3月に兄は清原温泉に疎開した。そこも危険というので、長野県伊那郡上片桐の瑞應寺様に移動した。

私は4月21日夕方、二子玉川小学校校庭で「見送り」はここまで！児童は振り向くな！という先生の言葉に両親と別れを告げ夜汽車に揺られ我々の7ヶ月が始まった。

兄と一緒にはいえ、甘える、頼る、食べ物等々我慢の連続だった。病弱な兄に比べ健康に恵まれた私は、両親に感謝です。11月7日疎開先から両親のもとに戻ったその日が、私の「8月15日」終戦の日だと思う。

木洩れ日

飯田 恭次

四月の熊本大地震、未だ残る傷跡に心痛みます。

今年は八月十一日が「山の日」として祝日に仲間入りしました。私たちの町に一番身近な山は高尾山と大山でしようか。標高は高尾山五九九米、大山一二五二米、いづれの山も古くから山岳信仰の対象として親しまれ、特に大山は水の神様として夏、山開きの期間、沢山の人で賑わいました。

昨年十月大山登山のケイブルカーも新しくなりました。今年の夏休み、ご家族で大山登山は如何ですか。

☆

毎年廻り来る八月十五日、この日に太平洋戦争が終ったと云う記憶を残す人も次第になくなって行きます。集団的自衛権や憲法改正論議が取り交わされていますが、戦争は間違いない人権侵害です。いつ起るか分からない自然災害と違い、国と国、人と人の対立の中で起ります。

☆

広島への米オバマ大統領の訪問を機に、唯一の被爆国である日本は声を大にして核兵器廃絶を国際社会に向って働きかける必要があります。

☆

今年の夏は遠い国ブラジル、リオデジャネイロからのオリンピック、パラリンピック、TV画面を通じて平和の祭典を楽しみましょう。熱中症、寝不足には十分、気を付けて。



郷土紹介

大山道のあしあと

平田良孝

明治初年、富国強兵策を進める新政府は、遂次、軍事施設を拡充して行きます。今の日比谷公園の場所に陸軍練兵場、市ヶ谷に陸軍士官学校、三宅坂周辺には陸軍省、参謀本部を置き、練兵場は青山、駒場へと、より広い場所に移転し明治二十四年、駒場野の高台に騎兵第一連隊、輜重兵大隊等の兵舎も完成します。

次いで明治三十年代に入り、池尻から三軒茶屋へ向う大山道の南側一帯は、広大な駒沢練兵場となります。

砲連隊等々の兵舎が完成しこの街道筋は言わば軍隊の町と云う姿に変わります。

明治四十年に開通した玉川電車は多摩川の砂利を運ぶ役目もありましたが、渋谷から三軒茶屋間はカーキ色の軍服を着た兵隊さん達が大いに利用しました。

その後、大正時代から昭和にかけて大山道沿い世田谷地域に誕生した軍事施設は、陸軍第二病院、陸軍自動車学校、陸軍衛生材料廠、東條首相私邸等です。

そして、かつて信仰と観光の道として親しまれた大山道は軍馬や戦車の移動の為、各所が拡張され相模原、厚木方面に向う軍用道路と姿を変えて行きました。



はじめまして

用賀まちづくりセンター
所長 島山育世

4月に用賀出張所長として赴任しました島山です。

この7月からは、新設された「用賀まちづくりセンター」所長としての任務に当たります。

玉川地域の勤務は初めてとなります。

さて、区では、本年7月から区内27地区すべてにまちづくりセンターを設置し、

まちづくり支援、防災機能の強化などの一層の推進を図るとともに、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会との連携による地域包括ケアの地区展開を、

全地区で開始しました。

用賀地区の地域分割

こうしたことから用賀出張所も、住民登録等の行政事務を担う出張所と、まちづくりセンターとに組織が分離され、新たな体制となりました。

また、27地区の中で最大の面積と最大の人口を擁する用賀地区は、平成31年度には地域を分割し、新たに瀬田、二子玉川エリアにも出張所とまちづくりセンターが設置される予定となっております。

こうした大きな動きがある時期に、仕事をさけていただくことになりました。皆様のが一層輝きを添えることができよう、微力を尽くしてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。



リオに学ぶこと

斎藤隆司 島崎律子

今年のオリンピックの開催地は、ブラジル・リオデジャネイロです。南アメリカで初めてのオリンピックが近づいています。以前、リオに住んでいた私にとっ

ては、とても楽しみです。

リオといえば、カーニバル。そして世界でも有数の治安の悪さが有名です。確かに毎日のようにピストルの音を聞き、車はドアのロックと窓を開めるのが当たり前です。そして、私にとっては懐しくすばらしい場所です。

思い出すことは、リオの人々のやさしさと明るさです。外国人に対しては親身にな

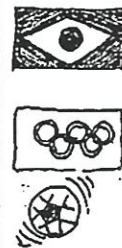


ってくれ、またどんなに変なことがあっても、前向きで明るく立ち向かう姿には、学ぶことがあります。

それと少々のことでは、これでもないパワーも学ぶべき点だと思えます。実際リオの海岸にあるニテロイという場所まで海を渡る橋を作った時に、端から作ってつなげようとした時に、1人ほどずれていたそうです。それでも現在まで（少々問題があっても）使われています。

失敗して落ち込むより、つとすばらしいことです。

今年の夏は、そのリオから学ぶべきパワーがみられるオリンピックになるか、今から楽しみです。



スポーツ

今年の夏の行事

盆踊り

○用賀くすの水公園
7月20日(水) 21日(木)

○三子玉川西地区ふれあい広場
7月22日(金) 23日(土)

○瀬田小学校
7月30日(土) 31日(日)

○用賀小学校
8月19日(金) 20日(土)

○ふるさと区民まつり
8月6日(土) 7日(日)

○馬事公苑
8月22日(月)

○用賀いらか道
午後4時から8時まで

たまたがわ花火大会
8月20日(土)

○区立二子玉川緑地運動場

○区立二子玉川緑地運動場

○区立二子玉川緑地運動場

○区立二子玉川緑地運動場

○区立二子玉川緑地運動場

○区立二子玉川緑地運動場

○区立二子玉川緑地運動場

○区立二子玉川緑地運動場

○区立二子玉川緑地運動場

○区立二子玉川緑地運動場

○区立二子玉川緑地運動場

○区立二子玉川緑地運動場



アメリカ大統領が本島を訪問しました。そして今年も8月15日がやってきます。終戦時用賀には東條元首相の私邸がありました。日本では戦犯を掃蕩することは、長年に亘り一種タブー視されてきました。しかし、あれから70年以上が経過し、もうこの呪縛から解放されてもよいのではないのでしょうか。

用賀地区には歴史教科書に載らないような元首相にまつわる話が、語り継がれています。今こそそれを明らかにする時では、と思っています。当時を知る人は数えるほどになってしまいました。

(高橋佳)